

## みやだいCOC事業による教育プログラムの編成及び実施の方針

### みやだいCOC推進機構

みやだいCOC推進機構では、全学的な地域志向型の一貫した教育カリキュラムにより、地域の課題に適確かつ効果的に対処でき、グローバルな地域振興の核となる人材の養成を目指します。

具体的には、以下の方針に基づき教育プログラムを編成し、異分野融合の視点を持ち地域の持続的かつ創造的な発展を担うために必要な基礎・応用能力の育成を行います。

#### 「教育プログラムの編成の方針」

1. 地域志向を広く涵養するための科目群として地域キャリアデザイン等を、また地域の情報・課題を自ら能動的に発掘し考察する能力を育成するための科目群として地域学入門Ⅰ、地域学入門Ⅱ、地域科学系科目（基礎）、地域インターンシップを設置します。
2. 異分野融合の視点から専門的知識・技術をもって地域活性化を担える能力を育成するための専門教育カリキュラムとして、地域デザイン概論Ⅰ、地域デザイン概論Ⅱ、地域科学系科目（専門）を設置します。
3. 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを地域課題の探求と解決に生かし、成果を正しく発信する能力を育成するために、卒業研究等の科目を設置します。

#### 「実施の方針」

4. 各授業科目の到達目標、授業計画、成績評価基準・方法をシラバスに明確に記載して、周知します。
5. 常に、置かれた状況を主体的に考える力を育成するために、アクティブラーニングや小人数教育を積極的に取り入れます。
6. 成績評価方法と基準に基づいて厳格な評価を行います。

#### 「地域活性化・学生マイスター授与の方針」

みやだいCOC推進機構では、宮崎大学が学務規則に規定する修業年限以上在学し、以下の能力を身につけた学生に、修得した単位に応じて、地域活性化・学生マイスターの「初級」、「上級」、「専門（ヘルス、フーズ、ソーシャル）」の資格を与える。

- 地域に対する深い関心・好奇心をもち、地域振興に関わる学習の持続力
- 地域の人々と積極的に関わり、創造性に繋がるコミュニケーション能力
- 専門的な知識・技術をもとに持続的に地域と関わりながら課題を解決する能力

平成27年4月27日大学教育委員会（第1回）承認